



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成24年2月3日

上場取引所 札

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス

コード番号 3055 URL <http://www.hokutake.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 眞鍋 雅昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営管理統括本部 副本部長 (氏名) 巖 友弘

TEL 011-633-1030

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	153,426	2.1	1,114	15.6	1,750	20.6	855	△11.7
23年3月期第3四半期	150,203	1.3	964	△29.7	1,451	△24.2	968	17.7

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 735百万円 (5.7%) 23年3月期第3四半期 695百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	34.05	—
23年3月期第3四半期	38.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	107,906	38,137	35.3	1,518.44
23年3月期	103,492	37,698	36.4	1,500.97

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 38,137百万円 23年3月期 37,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	0.9	1,200	15.4	2,000	18.4	870	5.4	34.64

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	25,976,221 株	23年3月期	25,976,221 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	860,158 株	23年3月期	859,886 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	25,116,179 株	23年3月期3Q	25,140,689 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災によりもたらされた甚大な影響が徐々に解消されつつあるものの、欧州を中心とした金融不安に端を発する世界経済の減速懸念や円高の長期化など、引き続き予断を許さない状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループでは、「ホールディングスはひとつ」を合言葉に、グループ各事業の機能強化とお得意先の利便性の向上を目的として、地域におけるワンストップサービスを提供できる総合ヘルスケア企業グループの実現を目指してまいりました。当期において、株式会社ほくやくでは検査試薬や在宅医療部門強化のためメディカル営業本部を新設し、株式会社アドウィックでは医療機関へのIT基盤構築の提案および支援を目的とした業務提携契約を締結いたしました。また、より一層の企業基盤の強化とシナジーの追求を図るべく、平成24年度からスタートする第二次中期3ヵ年計画の策定を進めております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は1,534億26百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は11億14百万円（同15.6%増）、経常利益は17億50百万円（同20.6%増）、四半期純利益は8億55百万円（同11.7%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

(医薬品事業)

医薬品事業におきましては、抗癌剤、新製品のワクチン、中枢神経系薬などの顕著な伸びを含む新薬の貢献もあり、売上面では堅調に推移いたしました。利益面におきましては、新薬価制度の導入を背景とした医薬品個々の製品価値に見合った販売を推進し、第3四半期では価格の低下に歯止めはかかりつつあるものの、SPD（病院内物流）をはじめとしたサービス強化によるコスト増もあり、前年並みの利益水準までには至りませんでした。その結果、売上高は1,214億38百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は3億47百万円（同7.5%減）となりました。

(医療機器事業)

医療機器事業におきましては、画像診断機器をはじめ眼科製品・透析装置関連機器などの大型機器の買い替え需要により、受注件数では比較的順調に推移いたしました。しかし、医療施設の新築案件の多かった前年との比較において、売上額は下回ることとなりました。利益面では、市場競争の激化による納入価格の低下傾向は依然として続いておりますが、消耗品における拡販政策の推進による販売割戻金の獲得もあり増益となりました。その結果、売上高は285億47百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は2億90百万円（同8.4%増）となりました。

(調剤事業)

調剤事業におきましては、長期処方などによる減少要因がある中、前年開設店の貢献などにより処方箋枚数が増加したことや新製品による処方箋単価上昇の影響により、売上は前年を上回りました。また、販管費の削減効果も表れ、利益面で貢献いたしました。その結果、売上高は63億17百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は2億95百万円（同37.1%増）となりました。

(介護事業)

介護事業におきましては、高齢化の一層の進展や介護ニーズが多様化する中、福祉用具レンタル・販売における品揃えの充実や住宅改修・福祉用具導入後のきめ細かなサービス提供を行いました。また、営業スタッフの増員・育成強化による質の高い提案とフレキシブルな営業体制を敷いた結果、売上・利益ともに堅調に推移いたしました。その結果、売上高は12億21百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は1億44百万円（同6.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の増加、たな卸資産の増加および仕入債務の増加等により、当第3四半期連結会計期間末には、176億74百万円（前年同期比9.2%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は1億28百万円（前年同期は22億88百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が17億9百万円（前年同期比27.7%増）、売上債権の増加52億93百万円（同69.2%増）、たな卸資産の増加5億69百万円（同73.8%減）、仕入債務の増加38億59百万円（同46.4%減）および利息及び配当金の受取額1億82百万円（同7.2%増）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は6億71百万円（前年同期は8億13百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の売却9億6百万円（同16百万円）、有形固定資産の取得1億38百万円（前年同期比72.5%減）および無形固定資産の取得84百万円（同68.2%減）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億61百万円（前年同期比15.1%減）となりました。これは主に、配当金の支払額2億83百万円（同6.5%減）およびリース債務の返済77百万円（同24.7%減）によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期におきましては、医薬品事業で医薬品個々の価値に見合った販売の推進を継続した結果、価格の低下にも歯止めがかかりつつあります。また、調剤事業および介護事業で当初計画を上回る利益水準で推移していることなどから、営業利益、経常利益、当期純利益において通期の連結業績予想を上回る見通しとなりました。

なお、平成23年11月4日に発表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 あ た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	200,000	1,000	1,700	850	33 84
今 回 修 正 予 想 (B)	200,000	1,200	2,000	870	34 64
増 減 額 (B - A)	—	200	300	20	—
増 減 率 (%)	—	20.0	17.6	2.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期通期)	198,203	1,039	1,689	825	32 83

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,632	17,815
受取手形及び売掛金	43,720	49,105
商品及び製品	13,340	13,909
繰延税金資産	453	583
その他	5,170	5,353
貸倒引当金	△25	△37
流動資産合計	80,292	86,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,168	5,870
土地	6,667	5,746
その他（純額）	424	382
有形固定資産合計	13,259	11,999
無形固定資産		
のれん	152	64
ソフトウェア	1,126	888
その他	134	82
無形固定資産合計	1,413	1,036
投資その他の資産		
投資有価証券	6,979	6,680
長期売掛金	676	634
破産更生債権等	57	50
長期貸付金	203	162
繰延税金資産	108	135
その他	951	921
貸倒引当金	△451	△442
投資その他の資産合計	8,524	8,141
固定資産合計	23,198	21,177
繰延資産	1	—
資産合計	103,492	107,906

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	62,247	66,107
未払法人税等	149	770
賞与引当金	675	405
役員賞与引当金	57	74
返品調整引当金	45	41
その他	940	896
流動負債合計	64,116	68,294
固定負債		
繰延税金負債	442	344
再評価に係る繰延税金負債	165	142
退職給付引当金	245	266
長期未払金	579	486
資産除去債務	202	205
その他	41	28
固定負債合計	1,676	1,474
負債合計	65,793	69,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	12,756	12,756
利益剰余金	24,733	25,295
自己株式	△425	△425
株主資本合計	38,064	38,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	833	693
土地再評価差額金	△1,198	△1,181
その他の包括利益累計額合計	△365	△488
純資産合計	37,698	38,137
負債純資産合計	103,492	107,906

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	150,203	153,426
売上原価	139,062	142,417
売上総利益	11,140	11,009
販売費及び一般管理費		
荷造費	540	555
貸倒引当金繰入額	—	8
給料	5,040	4,850
役員賞与引当金繰入額	70	74
賞与引当金繰入額	400	362
退職給付費用	293	270
法定福利及び厚生費	771	799
賃借料	191	187
その他	2,866	2,785
販売費及び一般管理費合計	10,176	9,894
営業利益	964	1,114
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	158	170
受取事務手数料	281	296
不動産賃貸料	49	38
持分法による投資利益	33	37
その他	137	201
営業外収益合計	672	757
営業外費用		
支払利息	0	—
不動産賃貸原価	84	51
遊休資産諸費用	85	38
その他	14	31
営業外費用合計	185	121
経常利益	1,451	1,750
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	12
貸倒引当金戻入額	12	—
その他	1	—
特別利益合計	14	12

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
特別損失		
固定資産売却損	27	18
固定資産除却損	49	29
投資有価証券売却損	—	1
会員権評価損	5	0
減損損失	—	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
その他	7	—
特別損失合計	127	53
税金等調整前四半期純利益	1,339	1,709
法人税、住民税及び事業税	1,115	950
法人税等調整額	△744	△95
法人税等合計	371	854
少数株主損益調整前四半期純利益	968	855
四半期純利益	968	855

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	968	855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△272	△139
土地再評価差額金	—	20
その他の包括利益合計	△272	△119
四半期包括利益	695	735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	695	735
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,339	1,709
減価償却費	829	799
繰延資産償却額	1	1
減損損失	—	3
のれん償却額	89	87
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16	2
受取利息及び受取配当金	△170	△182
支払利息	0	—
為替差損益 (△は益)	—	△0
持分法による投資損益 (△は益)	△33	△37
固定資産売却損益 (△は益)	27	18
固定資産除却損	49	29
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△10
会員権評価損	5	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,127	△5,293
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,174	△569
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,204	3,859
未払消費税等の増減額 (△は減少)	61	113
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2	21
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△224	△270
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32	17
未収入金の増減額 (△は増加)	326	△326
預り金の増減額 (△は減少)	76	68
その他	△550	11
小計	3,678	50
利息及び配当金の受取額	170	182
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△1,560	△362
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,288	△128

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△138	△138
定期預金の払戻による収入	137	137
有形固定資産の取得による支出	△504	△138
有形固定資産の売却による収入	16	906
無形固定資産の取得による支出	△266	△84
投資有価証券の取得による支出	△53	△26
投資有価証券の売却による収入	8	61
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△18	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	1	—
貸付けによる支出	△0	△50
貸付金の回収による収入	4	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△813	671
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1	—
自己株式の取得による支出	△15	—
単元未満株式の売買による収入及び支出	△2	△0
配当金の支払額	△303	△283
リース債務の返済による支出	△103	△77
財務活動によるキャッシュ・フロー	△426	△361
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,049	181
現金及び現金同等物の期首残高	15,141	17,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,190	17,674

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)
	医薬品事業 (百万円)	医療機器事業 (百万円)	調剤事業 (百万円)	介護事業 (百万円)	その他 (百万円)	
売上高						
外部顧客への売上高	112,951	29,171	5,952	1,129	998	150,203
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,118	257	13	6	1,808	6,203
計	117,069	29,428	5,965	1,136	2,806	156,406
セグメント利益	375	267	215	136	412	1,406

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,406
セグメント間取引消去	△334
のれんの償却額	△87
たな卸資産の調整額	△19
四半期連結損益計算書の営業利益	964

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)
	医薬品事業 (百万円)	医療機器事業 (百万円)	調剤事業 (百万円)	介護事業 (百万円)	その他 (百万円)	
売上高						
外部顧客への売上高	116,986	28,306	6,299	1,215	619	153,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,452	241	18	6	1,617	6,336
計	121,438	28,547	6,317	1,221	2,237	159,762
セグメント利益	347	290	295	144	500	1,578

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,578
セグメント間取引消去	△350
のれんの償却額	△86
たな卸資産の調整額	△26
四半期連結損益計算書の営業利益	1,114

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において減損損失を計上しておりますが、金額が軽微なため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。